

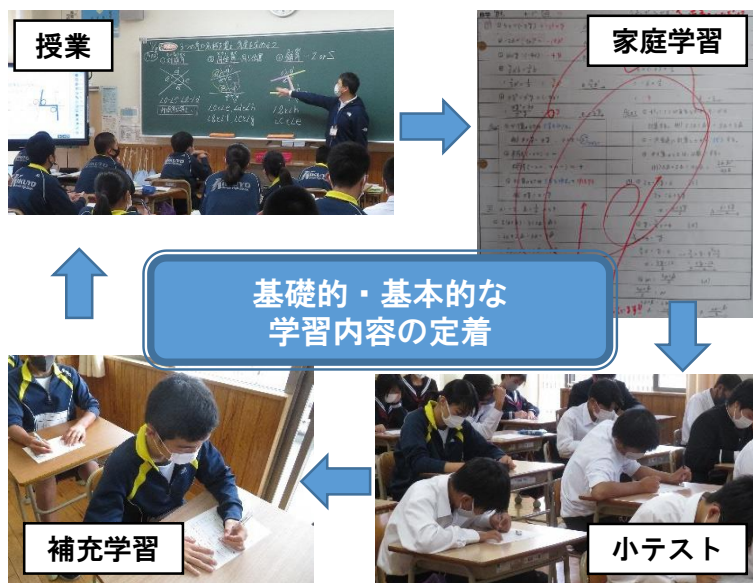
## 柱 1

## 【定着確認の徹底】実践例

授業・家庭学習・小テスト・補充指導を連動させた基礎的・基本的な学習内容の定着を図る取組

～ 菊陽町立菊陽中学校 ～

授業で学習した内容から基礎的・基本的な学習内容を精選し、家庭学習の課題としている。さらに、定着確認のための小テストと補充学習を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。



授業で学習した内容から、生徒に身に付けてほしい基礎的・基本的な学習内容を選び、家庭学習の課題として提示します。

生徒は、提示された課題に家庭で1週間取り組みます。

朝学習の時間を利用して、課題の内容から作成した小テストを行います。小テストの点数が基準に満たない生徒には、授業時間等を利用して、再テストや補充学習を行います。

1週間を1サイクルとして国語、数学、社会、理科、外国語の順で取り組んでいます。

## 柱 1

## 【定着確認の徹底】実践例

学習過程の工夫による丁寧なまとめと適用問題に取り組む時間の確保及びタブレットPCを活用した取組

～ 産山村立産山学園（数学科）～

学習過程の工夫により、授業の終末の時間を十分に確保し、丁寧なまとめと適用問題への取組を充実させている。また、家庭学習にタブレットPCを活用しながら、学びの定着を図っている。



根号の付いた数を、乗法の性質を用いて、より分かりやすい数へと変形する方法について考えるという課題を設定し、短時間の導入の中で生徒が意欲的に学習に臨んでいる場面です。

導入から速やかに展開に入ることにより、十分なまとめの時間を生み出し、生徒の発言を活かした丁寧なまとめを行うとともに、学びの定着を徹底するために、適用問題に取り組んでいます。

また、タブレットPCを活用した家庭学習を行い、より多くの問題に取り組む、学習内容の定着を図っています。

## 柱 1

## 【定着確認の徹底】実践例

### タブレットPCの活用により、家庭学習と授業とをつなぐ取組 ～高森町立高森中学校（数学科）～

授業で扱う問題を事前に生徒のタブレットPCに送信し、家庭学習で自分の考えをまとめておき、授業では家庭学習での考えを基に個人やグループで学習を進める取組を行っている。



家庭と授業をつなぐ取組として、以下のよう  
な取組を行っています。

#### <家庭学習>

- ①本時で扱う問題を授業前日に生徒のタ  
ブレットPCに送信
- ②問題に取り組み、わからないことは教師  
にメールで質問
- ③前日に自分の考えを教師に送信

#### <授業>

- ①事前に送られてきた生徒の考えを把握
- ②タブレットPC上にまとめた考えを基に  
展開（一人学びやグループ学習）

自力解決から協働解決の時間を十分に確保  
することで、更に考えが深まり、単元の既習  
内容を十分に活かした考えを学級全体で共有  
することができます。

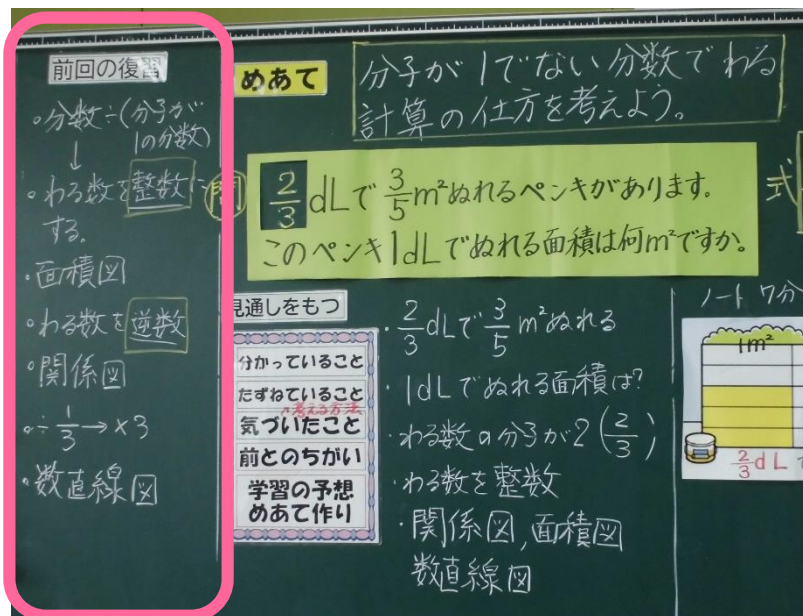
## 柱 1

## 【定着確認の徹底】実践例

毎時間の導入時に、前時の復習の時間を位置付け、定着状況を確認し、本時へ  
円滑につなぐための取組

～錦町立木上小学校（6年算数科）～

児童の定着状況を確認するとともに、学習内容の連続性を児童が実感し、本時への導入をス  
ムーズにするために、毎時間、授業冒頭に前時の復習を行っている。



算数の学習では、日々の積み重ね  
が重要です。導入時に、黒板左側の  
スペースを使って、前時の学習内  
容の復習を行い、本時に必要なレ  
ディネスを整えています。前時の学  
習内容を自由に発言させ、その際  
の発言内容や反応等から定着状況  
を確認することができます。定着が  
不十分と感じたときは、前時の  
復習に時間を割いてから本時に入  
るようにしています。前時の復習  
を板書に残すことで、本時の学  
習課題に取り組む際の手掛かりに  
なるとともに、本時の学習の焦  
点化につなげることができます。